



東京で開かれる交流大会や、静岡ホビーショーの手伝いにも参加する「ボードゲーム班」

昨年は、「ジュニアプロコンin静岡」で最優秀賞を受賞した生徒もいた「プログラミング班」



### 自然科学部 静岡聖光学院中学校・高等学校

生徒の興味関心を学びにつなげようというのが、静岡聖光学院中学校・高等学校の「自然科学部」。毎年約50人の部員はテーマごとに班に分かれ、その内容も生徒の要望によって変化していきます。現在は、ドローンを操縦して生態系調査をする「ドローン班」、論理的思考力を養う「ボードゲーム班」、物理的思考などで速さを目指す「ミニ四駆班」、試行錯誤しながらゲームを作る「プログラミング班」の4班が活動中。班ごとに付く顧問の一人、青島諒太郎さんは、「生徒のワクワクする気持ちに火をつけて、実社会でも応用できる思考力を育てたいと思っています」

静岡聖光学院中学校・高等学校 / <https://www.s-seiko.ed.jp>

### 太鼓部 常葉大学附属橘中学校・高等学校

締太鼓、長胴(ながどう)太鼓など数種類の和太鼓を力強く演奏するのは、常葉大学附属橘中学校・高等学校「太鼓部」の部員たち。中高一貫校で「太鼓部」をもつのは同校だけ。部員の数も増えてきた近年は約30人が静岡太鼓連盟の山本祐司会長の指導のもと、練習に励み、毎年「静岡まつり」や「静岡太鼓フェスティバル」などさまざまな機会

で、息のあった演奏を披露しています。「部活の目標は技術の向上や演奏を楽しむことですが、目的はあいさつや礼儀などを通しての人間形成にあります」と顧問の天野晃一郎さん。

常葉大学附属橘中学校・高等学校 / <https://www.tokoha.ac.jp/tachibana-jh/>



中学生と高校生、親密な絆のつながりも魅力の「太鼓部」。写真は「静岡まつり」の際、駿府城公園で披露した演技の様子

## 青春、部活に夢中!

中高一貫校ならではの個性派部活



「自ら考え、行動する力」を育てようと奮闘する中学・高校の教育現場。授業だけでなく、部活でも生徒の能力は伸びていきます。そこで、中高一貫校ならではの個性的な部活に注目。楽しみながら成長する様子をご紹介します。(小林かおり記者)

目標は、「小高百人一首競技からた全国高等学校選手権大会(団体戦)出場と、全国高等学校総合文化祭(県代表メンバー)の選出(個人)」



### 競技かるた部 静岡雙葉中学校・高等学校

競技かるたの部活がある高等学校は県内に約20校あり、その上位校が静岡雙葉中学校・高等学校です。中学1年から国語の授業で百人一首を学ぶ同校ですが、「競技かるた部」には毎年約20人が在籍。静岡県かるた協会からコーチを招いて、高校生になると各種大会に参加。昨年は「東海地区高等学校かるた大会」(団体戦)で5位、ここ数年は個人で「全国高等学校総合文化祭」県代表メンバーに選ばれた生徒も。顧問の三浦聡さんは、「生徒たちの一瞬の間の音を聞き分け、札をとる判断力・瞬発力はすごいと感じます」と競技かるたの魅力を話してくれました。

静岡雙葉中学校・高等学校 / <https://shizuoka-futaba.ac.jp/>

### ロボット研究部 静岡大成中学校・高等学校

LEGOプログラミングロボットを用いてロボットの設計・製作・プログラミングを行う静岡大成中学校・高等学校の「ロボット研究部」。毎年約20人が在籍し、夏の「WRO(ワールドロボットオリンピック)」や、秋の「ロボットアイデア甲子園」といった大会での上位入賞を目的に活動しています。顧問の中野由季子さんから基本を学んだあとは、趣味・関心を同じくする中高生が学年の枠を超えて協力し、ゼロからアイデアを出し合い、課題に取り組んでいます。「こうした活動を通じて論理的思考や課題解決力、チームで協力して物事を作り上げる力を育てています」

静岡大成中学校・高等学校 / <https://s-taisei.ed.jp/>



この3年間で「WRO JAPAN 静岡地区大会」優勝、「ロボットアイデア甲子園」静岡県中・東部大会準優勝などの実績があります